



地域ひと・モノ・未来  
情報研究センター

## 第4回

# 成果発表シンポジウム

地域ひと・モノ・未来情報研究センターは、多様な情報を情報通信技術（ICT）で解析・連携・共有化し、その成果を「滋賀モデル」として提案・発信すること、また、ICT応用を地域社会で実践できる人材の育成などを目的としています。

滋賀県の歴史・文化・伝統を基盤とした地域の環境・健康福祉・産業振興などのターゲットに対応し、農業・看護・観光・工業等に関する研究を進めると共に、数理モデル・情報解析能力を備える学生の育成および地域ならびに地域産業の課題解決へ向けた社会人の養成・学び直し等を進めています。

この度、令和2年度の成果発表として、下記のとおりシンポジウムを開催します。

### 日時

**2021年3月15日（月）～3月31日（水）**  
**（受付：3月15日（月）10時～3月19日（金）17時）**  
**オンデマンド視聴**

### プログラム

<暫定版>（敬称略）

参加費  
（視聴）  
無料

[20分間] 開会の辞とセンターの現状報告

地域ひと・モノ・未来情報研究センター長、  
工学部電子システム工学科 教授

酒井 道

[50分間] 【特別講演】（TBD）

熊本大学総合情報統括センター 教授

戸田 真志



[30分間] 【講演1】 ロボットアーム・ロボットハンドの研究と作業の省力化

地域ひと・モノ・未来情報研究センター、  
工学部機械システム工学科 准教授

山野 光裕

[30分間] 【講演2】 個々の現場で使える深層学習開発のためのユーザ支援ツール

地域ひと・モノ・未来情報研究センター、  
工学部電子システム工学科 講師

榎本 洸一郎

[30分間] 【講演3】 工場内可視化促進のための真空装置内で動作可能なIoTセンサの開発

地域ひと・モノ・未来情報研究センター、  
工学部電子システム工学科 教授

酒井 道

主催：公立大学法人滋賀県立大学

# 参加（視聴）方法



▲受付HPのQRコード

オンライン視聴にて開催します（視聴した講演への質問があれば、後日回答します）。期間中、自由に視聴下さい。

（視聴方法）☆詳細について質問があれば、末尾電子メールでお尋ねください

1. 期間中、下記の受付ホームページにアクセスし、受付フォームに参加者情報を入力してください。受付フォームに、各ビデオ動画ファイルの見方の説明があります。  
<https://www.ict.usp.ac.jp/posts/news49.html>
2. 取得された各ビデオ動画ファイルへのアクセス情報により、期間中ご自由に視聴ください。
3. 質問・アンケートにお答えください。アンケートにお答えいただいた方に、後日、動画中で用いたスライド（pdfファイル）のコピーをお送りします。

## （参考）当センターのご案内

### 交通アクセス

- ▼JR南彦根駅まで  
JR京都駅から普通で60分  
JR名古屋駅から快速で80分
- ▼JR彦根駅まで  
JR京都駅から新快速で50分  
新幹線で30分  
JR名古屋駅から新幹線で35分  
（※新幹線は米原駅で乗継ぎ）
- ▼JR南彦根駅から  
バスで15分（南彦根駅西口：南彦根  
県立大学線）／タクシーで10分
- ▼JR彦根駅から  
バスで25分（彦根駅：彦根県立大学  
線）／タクシーで15分
- ▼名神彦根ICから  
車で20分（6.5km）



### 【学内案内図】



《お問い合わせ先》

滋賀県立大学 地域ひと・モノ・未来情報研究センター

〒522-8533

滋賀県彦根市八坂町2500産学連携センター（C8棟）2階C8-204

☎0749-28-8421（事務局） 0749-28-8382（酒井センター長）

E-mail : ict@e.usp.ac.jp URL : <http://www.ict.usp.ac.jp>

▼センターHPのQRコード

